

AB1305 Disclosure (Assembly Bill No. 1305 (カリフォルニア州法 議会法案 1305 号) に関する情報開示)

2050 年目標

協和キリングループは 2050 年ネットゼロ目標（スコープ 1、2、3 全体で 90%以上削減、報告対象範囲は「[協和キリン ESG データ](#)」に記載されている過去の排出量開示で定義）を設定しています。この目標は、キリンホールディングスの SBT 目標に関連して設定されたものです。キリンホールディングス全体の SBT 目標は SBTi プロセスに従って検証されていますが、協和キリングループの目標は個別の検証を受けていません。

当社は、「協和キリン ESG データ」に記載されている排出量算定方法に従って、排出量削減の進捗状況を追跡しています。

なお、2025 年の Scope1、2 の排出量算定は、「協和キリン ESG データ」に記載されている通り、第三者保証（限定的保証）の対象です。

当社は、当社グループの 2050 年目標に対する中長期目標として、2030 年と 2040 年の Scope1、2、並びに 2030 年の Scope3 の中間排出量目標を、それぞれ設定しています。

2040 年目標

RE100 イニシアチブに関連して、当社グループは、スコープ 2 排出量に含まれる生産研究事業場の使用電力を、2040 年に再生可能エネルギー100%にする目標を設定しました※。

この目標の対象範囲とスコープ 2 排出量の算出方法は、「協和キリン ESG データ」に定義しています。当社グループのスコープ 2 排出量算定は、「協和キリン ESG データ」に記載されている通り、第三者保証（限定的保証）の対象となっています。

また、当社は、本社を含む、国内外の各事業場における再生可能エネルギーの導入など、当社の CO2 削減目標並びに再生可能エネルギー関連目標に関連する特定の重要なプロジェクトについて、別途説明しています。

2030 年と 2026 年の目標

キリンホールディングスの SBT 目標に関連し、当グループは、スコープ 1 と 2 の排出量削減の 2030 年目標を設定しました。

2021 年には、本目標を当社グループの Scope1 と 2 の CO2 排出量を 2019 年比で 55%削減するという、より野心的な目標に更新・設定しました。また、2024 年には Scope3 の CO2 排出量削減目標：2019 年比で 30%削減も、新たに設定しました。

この 2030 年目標達成に向けた当社グループの戦略については、「[持続可能な社会の形成に向けた取り組み](#)」および「[TCFD 提言に基づく情報開示](#)」に記載しています。

また、当社グループは 2026 年の中間排出量目標（2019 年比で 69%削減）も設定しています。

当社グループは、2021 年から 2025 年までのスコープ 1 と 2 の排出量削減の中間達成状況を、「持続可能な社会の形成に向けた取り組み」に記載しています。

当社グループは、「協和キリン ESG データ」に記載されている排出量算定方法に従って、排出量削減の進捗状況を管理しています。

この過去の排出量算定（2025 年）は、「協和キリン ESG データ」に記載されている通り、第三者保証（限定的保証）の対象となっています。

※：キリンホールディングスは RE100 へ加盟しています。当社グループはキリンホールディングスの掲げる「キリングroup環境ビジョン 2050」に沿った対応を進めていますが、当社グループ単独では RE100 への加盟はしていません。